

各位

上場会社名	シグマ光機株式会社
代表者	代表取締役社長 近藤 洋介
(コード番号)	7713)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 菊池 健夫
(TEL)	03-5638-8221)

平成27年5月期第2四半期累計期間(連結・個別)及び通期(連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,600	250	300	175	23.23
今回修正予想(B)	3,109	146	196	99	13.25
増減額(B-A)	△490	△103	△103	△75	
増減率(%)	△13.6	△41.5	△34.4	△43.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年5月期第2四半期)	3,231	148	212	116	15.49

平成27年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,670	685	790	455	60.40
今回修正予想(B)	6,850	440	540	305	40.49
増減額(B-A)	△820	△245	△250	△150	
増減率(%)	△10.7	△35.8	△31.6	△33.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年5月期)	6,724	360	489	294	39.11

平成27年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,345	285	165	21.90
今回修正予想(B)	2,816	170	85	11.30
増減額(B-A)	△528	△114	△79	
増減率(%)	△15.8	△40.0	△48.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年5月期第2四半期)	2,946	183	99	13.18

平成27年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,100	750	430	57.08
今回修正予想(B)	6,200	480	265	35.18
増減額(B-A)	△900	△270	△165	
増減率(%)	△12.7	△36.0	△38.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年5月期)	6,170	428	261	34.73

修正の理由

1. 平成27年5月期 第2四半期累計期間（連結・個別）

平成27年5月期第2四半期累計期間の業績につきましては、急激な円安進行による原材料等の高騰や消費税増税による需要の反動減等に伴う国内産業分野の設備投資・研究開発投資の減少及び遅延の影響を受け、想定していた販売見通しの一部が失注あるいは下期以降に先送りされる等、光学要素部品・光学システム製品ともに売上が減少しました。第2四半期には受注環境に改善傾向が見られましたが、納品まで時間のかかる開発性の高い案件が多く、第2四半期累計期間での売上の計上には至りませんでした。なお、海外販売子会社については、受注及び売上について堅調に推移しました。また、第2四半期累計期間での営業損失の計上が見込まれる光学システム製品にかかる固定資産について、減損損失処理に伴う特別損失を計上することいたしました。その結果、連結・個別の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

2. 平成27年5月期 通期（連結・個別）

第3四半期以降につきましては、国内市場の足元の受注環境が回復基調にあることや、海外市場への展開強化による売上高の拡大予測、新規開発製品の売上寄与等の明るい材料も見られますが、国内経済の先行きは依然不透明であり引き続き厳しい事業環境が継続することが想定されることから、通期の売上高は期初予想を下回る見通しとなりました。損益面についても生産の効率化や管理可能な経費の削減等により利益改善に努めてまいりますが、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに期初予想を下回る見通しとなりました。その結果、平成27年5月期の連結・個別の通期業績予想を修正することいたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上